

KIJIMA Takao

木島 隆夫

静謐の精析・諸法実相考R7-8B

127×159cm

水彩紙・シルクスクリーン・コラージュ

water paper, screen print, collage

2025～1989 モダンアート展（東京都美術館）

2024～2004 CAFネビュラ展  
（埼玉県立近代美術館）

2024～1999 埼玉県版画家協会展  
（埼玉県立近代美術館、他）

2024～1995 日本版画協会展（東京都美術館）

2024～1985 個展（八木橋、STAGE-1、  
養清堂画廊、  
ギャラリーかなやま、他）

2025～1989 Modern Art Exhibition  
（Tokyo Metropolitan Art Museum）

2024～2004 CAF Nebula  
（The Museum of Modern Art, Saitama）

2024～1985 Solo Exhibition  
（Yagihashi, STAGE-1,  
Yoseido Gallery,  
Kanayama Gallery, etc.）



あるがままに真実のすがたを見ることは難しい。「唯識所変」で外界のあらゆるものを認識するところの投影はすこぶる複雑で一様ではない。そんなところの有り様を、映像と色彩でイメージしてみました。

USUI Katsuhiko

臼井 勝彦

LL-violet

126×166cm

アクリル・コットン

Acrylic color, cotton

1991 ベルギー王立アントワープ美術アカデミー修了

1984 創形美術学校研究課程修了  
個展、グループ展等多数

1991 Koninklijke Academie voor Schone Kunsten  
van Antwerpen

1984 Sokei Academy

細かい線の集積が支持体ににじむことで、  
時間、物質が視覚的に“質”を持って“アラワレル”こと  
を望んでいます。